

〈令和 8 年 10 月発行〉

TEL/FAX:0957-46-5881

Email:youkyou@city.omura.nagasaki.jp

いっぽでは園のご要望に応じて、園内研修のお手伝いもさせていただいています。

先日は「長崎県学ぶ保育士等応援事業（幼児教育アドバイザー派遣）」の一環としてゆりかご保育園さんにお伺いしました。県が掲げるテーマの一つ「虐待防止」について、こども基本法の 6 つの理念や、令和 7 年改訂の虐待防止ガイドライン、セルフチェックリストにも触れながら対話を中心に学び合いました。先生方の熱心な姿勢に多くの刺激をいただきました。

虐待は、日々の保育の「地続き」にあるもの

令和 7 年度改訂のガイドラインでは、「虐待」を「日々の行為の延長にあるもの」と捉えています。だからこそ、日頃の振り返りがとても大切ですね。

ゆりかご保育園では「余裕がないと言葉が強くなってしまふ」「状況に応じた対応に悩む」など、日々の保育の中にある迷いや葛藤が率直に共有されました。自分の関わりを真摯に見つめ直そうとする先生方の姿勢こそが、よりよい保育を実現するための原動力になるのだと感じました。



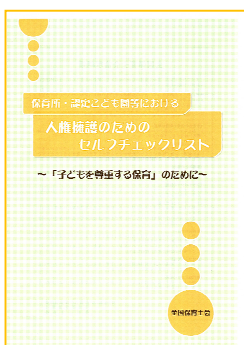
付箋を使ったグループワークの様子

- ・一人で悩まず、職員同士で声を掛け合ったり相談したりすることで防げることもある。
 - ・子ども一人ひとりの発達段階を理解して、職員間で関わりを共有する。
 - ・子どもの安全を守るために、危険な行動を制止することは必要。子どもへのその後のフォローや、保育者の意図を保護者に伝えて理解を図ることも大切では。
 - ・日頃から肯定的な声かけを意識する。
(例:「走らない」⇒「歩こうね」)
- などなど

「子どもにとってどうか」をまん中に

虐待防止とは、「やってはいけないこと」を考えるだけでなく、「子どもたちが安心して自分らしく過ごせるにはどうすればよいか」子どもの最善の利益を考えることであり、それが保育の質の向上につながります。時には弱音や本音を打ち明け合い「そんなこともあるよね」と共感し合いながら、風通し良く前向きに語り合える職場の雰囲気や、子どもと先生を包むバリアになります。

今回の研修会では、個人の意識だけではなく、「園全体で守り合う・気付き合う」ことの重要性を一緒に学ばせていただきました。ありがとうございました。



全国保育士会 〈保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト ～「子どもを尊重する保育」のために～〉

振り返りのひとつとしてご活用いただきたいチェックリストですが、状況によって「○か×か」の判断がしにくいことがありますし、同じ項目でも捉え方は人それぞれかもしれません。

「個人の振り返り」と併せて「組織としての対話」のツールとして、ポイントを絞った話し合いなどにも活用してみてください。



〈9月16日(水)教育・保育力向上研修会〉
子どもの主体性を育む保育
講師：長崎大学教育学部 准教授 脇 信明氏

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領でも重要視されている子ども主体の保育について、理論と具体的な事例を交えて学びました。私たちが良かれと思っている関わりが、実は子どもの主体性を阻害していないか、改めて振り返る機会となりました。

そもそも「主体性」とは何か？

ことば	捉え方	例
主体性	「何をするか」が決められていない場面で、自分の意思・判断をもとに考え、決め、行動していくこと。	・遊び方や調べ方を考える ・仲間と相談して決める
自発性	他から強く促されなくても、自分から進んで行おうとすること。	興味をもって自分から始める
自主性	「やること」がある程度決まっている中で、自分の判断で行動すること。	片付け・当番・あいさつを率先して行う

子どもが「考える」→「決める」→「行動する」

この一連の経験を、日々の保育の中でどれだけ保障できるか

これからの子どもたちには、予測困難な時代を自ら切り拓き、歴史から学び、仲間と手を取り合って生きていく力が求められています。自ら考え、判断し、表現し、協同する力が必要です。

何か特別な活動が必要なわけではありません。脇先生は、普段の保育の中で大切にしたい視点として、以下の「今日の振り返り」を示されました。こうした日々の小さな「意識」の積み重ねが、子どもたちの主体性を大きく育てていきます。

- ☐ 今日、同僚と遊びや活動、環境について話を交わしましたか？
- ☐ 今日、子どもの提案を一つでも「やってみよう!」と返しましたか？
- ☐ 今日、自分の“介入”を一つやめて、子どもの解決を見守りましたか？
- ☐ 今日、子どもの応答を確かめて、次の手を実践しましたか？
- ☐ 今日、指示より「どうしょっか?」と前向きな問いを投げましたか？

〈参考文献等〉

- ・保育所等における虐待防止及び発生時の対応等に関するガイドライン(令和7年8月改訂 こども家庭庁・文部科学省)
- ・保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト～「子どもを尊重する保育のために」～(全国保育士会)
- ・子どもの人権まんが園づくり～そのまま使える!対話方研修まるわかりBOOK(ぎょうせい 新保庄三監修 野澤洋子編著)
- ・令和7年7月9日(水)大村市教育・保育力向上研修会資料「不適切な保育について」(長崎大学准教授 脇信明氏)
- ・令和8年9月16日(水)大村市教育・保育力向上研修会資料「事例から考える『子どもの主体性』を育む保育」(長崎大学准教授 脇信明氏)

〈いっぱ図書館 オススメBOOK〉

「日本の保育アップデート!子どもが中心の「共主体の保育へ」
(小学館 大豆生田啓友監修 おおえだけいこ著)

「子どもの主体性尊重ばかりでいいの?」「私たち大人はどう関わればいい?」そんな心のモヤモヤを紐解くヒントが随所に散りばめられた一冊です。

